

ユーザーズ部会のご紹介

2018年4月17日

Digital Signage Consortium

■ユーザーズ部会 メンバー

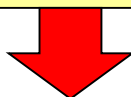
ユーザーズ部会 構成メンバー			
1	(株)イーネット	14	(株)シブヤテレビジョン
2	イオンアイビス(株)	15	タリーズコーヒージャパン(株)
3	(同) 江口靖二事務所	16	(株)東急エージェンシー
4	(株)NHKエンタープライズ	17	東急不動産(株)
5	(株)NHKグローバルメディアサービス	18	東京急行電鉄(株)
6	NTT都市開発(株)	19	(株)ドトールコーヒー
7	鹿島建設(株)	20	(株)ファミマ・ドット・コム
8	(株)クレディセゾン	21	三井不動産(株)
9	(株)産業経済新聞社	22	(株)三菱総合研究所
10	(株)JR東日本ウォータービジネス	23	三菱地所(株)
11	(株)ジェイアール東海エージェンシー	24	(株)メトロアドエージェンシー
12	(株)JR西日本コミュニケーションズ	25	森ビル(株)
13	(株)ジェイアール東日本企画		
オブザーバー：総務省			

2018年4月1日現在(敬称略・五十音順)

■部会発足の経緯

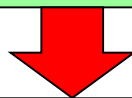
1. 「デジタルサイネージ・ユーザーズ・フォーラム」の活動

○2010年6月～ サイネージシステム標準化のための事業者会議体であったDSUFは、東日本大震災の発生をうけ、「災害時情報発信」と「節電環境下での運用」について議論を深度化



2. 「ユーザーズ部会」の発足

○2012年12月～ DSUFのメンバー企業の一部(13社)が、「ユーザーズ部会」に移行。引き続き「災害時における運用ガイドライン」の内容を検討するほか、事業者間の情報交換を行う。



3. 「災害・緊急時におけるデジタルサイネージ運用ガイドライン」の策定

○2013年6月

DSJ2013セッションで発表→DSCサイトで公開 (2014年6月第二版改訂)

- デジタルサイネージ導入・運用の課題を共有化し、改善のための検討を行う。
- 「災害時のデジタルサイネージ運用ガイドライン」の深度化を行う。
- 2020年に向けての最新のデジタルサイネージ事例(WBS・4K・O2Oツール・多言語対応等)の収集及び関連団体との情報連携を行う。

【アクションプラン】

- ①サイネージ展開事例の視察を行ない、その現状やノウハウ・課題を共有
- ②ベンダー・関連団体等との交流による効果的なサイネージ利用の検討
 - ・DSC他部会(マーケティング・ラボ部会、UX部会等)との交流
 - ・広告主、他関連団体(日本パブリックビューイング協会)等との情報交換・連携
- ③新たなサイネージシステムの方向性の検討
 - ・デジタルメディア全体動向の中でのサイネージの最新情報の共有
 - ・Web Based Signageや4K、BEACON、多言語対応等の周辺技術を含む最新例や海外展開事例の共有
- ③「災害時のデジタルサイネージ運用ガイドライン」の改訂
 - ・災害対応について「Lアラートワーキンググループ」への協力・連携

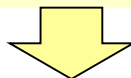
アラートワーキンググループのご紹介

2018年4月17日

Digital Signage Consortium

■DSCにおける災害対応の取り組み

1. 「デジタルサイネージ・ユーズーズ・フォーラム」の活動 2010年6月～
 ○経緯 サイネージシステム標準化のための事業者組織であったDSUFは、東日本大震災の発生をうけ、「災害時情報発信」と「節電環境下での運用」について議論を深度化



2. DSC「ユーズーズ部会」の発足 2012年12月～
 ○経緯 DSUFのメンバー企業の一部が、「ユーズーズ部会」(※現在18社)に移行、引き続き「災害時における運用ガイドライン」の内容を検討するほか、事業者間の情報交換を行う

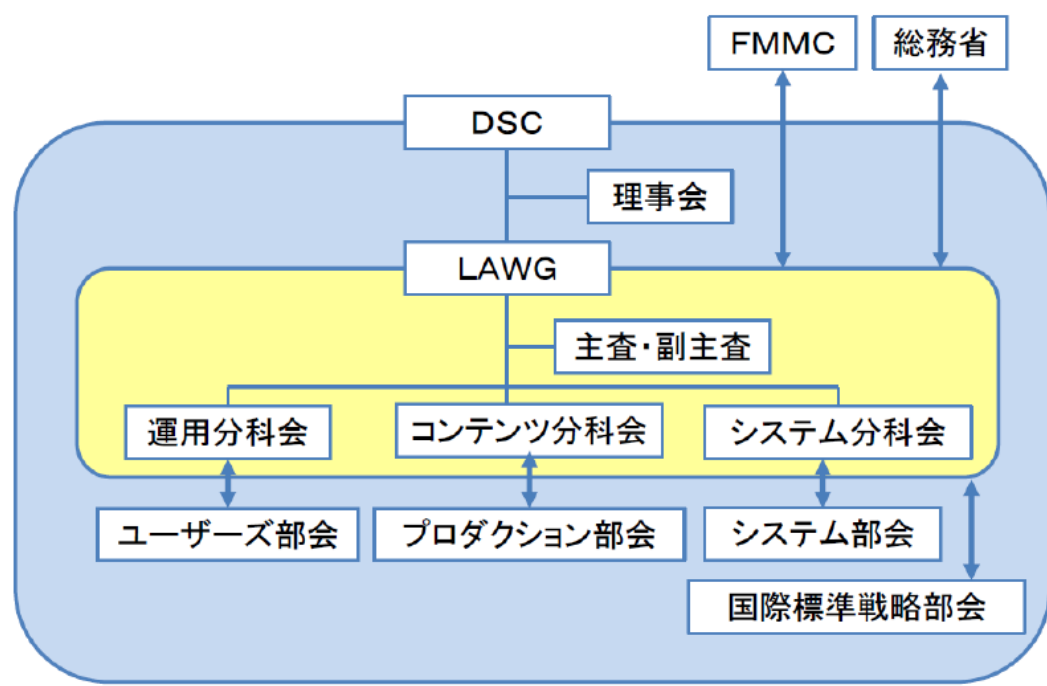


3. 「災害・緊急時におけるデジタルサイネージ運用ガイドライン」の発表
 2013年6月～ DSCホームページで発表 ⇒ 2014年6月～ 改訂版発表



4. DSC「Lアラートワーキンググループ」発足 2014年8月～

■DSC LアラートWGの活動



- 3つの分科会を設置して会員からメンバーを募り、検討を行う。
- 検討に際してはDSC既設部会・FMMC・総務省と連携する。

①運用分科会

運用規定の策定、
緊急運用開始及び
終了、緊急体制、広
告補償など

②コンテンツ分科会

主要なコンテンツの検
討や要望、テンプレート
案の作成など

③システム分科会

Lアラートとのシステム
接続規定の策定、接続
方法、等を含むシステ
ム要件定義など

■各ガイドラインの策定

デジタルサイネージ標準システム 相互運用ガイドライン

デジタルサイネージコンソーシアム
災害・緊急時における
デジタルサイネージ運用ガイドライン

第二版
2014 年 6 月
デジタルサイネージコンソーシアム

災害・緊急時における デジタルサイネージ運用ガイドライン

Digital Signage Consortium

デジタルサイネージコンソーシアム

デジタルサイネージ標準システム
相互運用ガイドライン

1.0 版



平成 28 年 4 月

デジタルサイネージ 災害コンテンツガイドライン



デジタルサイネージ
災害コンテンツガイドライン

2017 / 2 / 21

第 1 版

デジタルサイネージコンソーシアム
L アラートワーキングコンテンツ分科会
プロダクション部会

○Lアラートとデジタルサイネージの接続のための技術的検証、および実現のための具体的検討を行い、接続に向けた課題抽出とロードマップ策定を行なう

○災害時のデジタルサイネージのコンテンツに関する指針を深度化する

○災害時のデジタルサイネージの運用に関する具体的な指針を検討する

【アクションプラン】

①接続・普及に向けての課題を明確化し、実現に向けての方策を総務省・FM MC等、関係機関に提言する。

②中間事業者、中間サーバー機能の検討

具体的な接続のために必須の機能である中間サーバー機能について、実現の方策について、FM MC・総務省等関係箇所と検討を行なう。

③分科会単位での関連活動とDSC関係部会との連携

システム分科会 接続要件の定義(システム部会と連携)

運用分科会 運用ルールのガイドライン作成(ユースケース部会と連携)

コンテンツ分科会 コンテンツのサンプルの作成(プロダクション部会と連携)

○ユーザーズ部会 4月は部会の開催はありませんでした。

■次回予定: **5月11日(金)15:00~** @jeki

- テーマ
- 1)改めてメンバー自己紹介
 - 2)2018年度 部会活動計画
 - 3)海外展示会最新レポート(江口常務理事)
 - 4)DSJ2018のみどころ(参考)
 - 5)新たに発表された消防庁ガイドライン(参考)

○Lアラートワーキンググループ

3月は開催はありませんでした。次回の実施について別途調整します。

- テーマ
- 1)実証実験の成果及び各分科会活動の共有
 - 2)現状におけるLアラートとの接続課題
 - 3)実現へのロードマップ検討